

「埼玉県公営住宅等見守りサポーター一通信」 No.17



コロナ禍で皆さんと顔を合わせる機会がなくなり、こもりがちの高齢者が増えていると思われます。健康状態や様子がわからなくなっています。そんな時こそお隣ご近所の洗濯物や郵便ポスト等を気にかけて、気配りと声掛けで命が救われることがあります。



家族や友人との支え合いが大切です！

人との交流はとても大切です。外出しにくい今の状況こそ、家族や友人や地域の方が互いに支え合い、意識して交流しましょう。

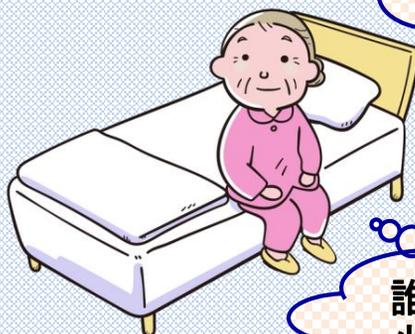
ちょっとした挨拶や会話も大切です。新型コロナウイルス感染症に関する正しい最新情報の共有も、トラブルや不安の解消にもつながります。

コロナ禍での高齢者の生活

ずっと家に閉じこもり、一日中テレビをみていたり…

ボーっとしていたり
食事たまに抜かしてしまったり…

誰かと話すことも
少なくなった…



ちょっとした異変に気づいたら、管轄支所に連絡をお願いします。



埼玉県マスコット「コバトン」
「さいたまっち」

サポーター登録数 521団体
見守りサポーター登録の受付を
しております。



【見守りサポーターについてのお問い合わせ先】

〒330-8516 さいたま市浦和区仲町3丁目12番 10号
埼玉県住宅供給公社 公営住宅部 県営住宅課
電話 048-829-2875 FAX 048-825-1822
<http://www.saijk.or.jp/>